

令和元年 10 月 報道機関との定例懇談会 要旨

□ 情報提供項目

劇場映画「星屑の町」関係者試写会、中学校キャリア教育事業、久慈地方産業まつり、ぐれっと！やまがた街道祭について市長が説明したほか、10月の行事予定、イベント情報などについて報道機関にお知らせしました。

□ 記者との質疑応答

記者：キャリアオーケストラはキャリア教育事業としてとても良い取組みと思う。

他市の事例があるのか。

市：大船渡市の事例を参考にし、中学2年生を対象を絞ったもの。事前学習は地元企業の30社が参加する。

社会体験では200以上の企業が参加する。県内にはない規模となっている。

中学生には、地元企業に目を向けてもらう機会になる。

記者：これだけの事業では、市長部局と教育委員会がかなりの連携が必要だと思う。地元就職や人材育成に効果があるものと思う。

市：市内全中学校から快くご協力いただいた。

大学など進学後だと就職の情報提供が難しくなる。就職する前に市内の企業を知ってもらう機会となる。

就職を担当する先生は情報収集など大変苦労していた。行政が企業とのつなぎの役割を担い、学校と協力体制がとれた。

記者：これまで行っている職場体験は別途に継続するのか。

市：この事業の職場体験で集中して一括で行う。

記者：年内で100歳になる方の人数、市の高齢化率を教えてください。

市：現在は24人、今年度末では33人の見込み。市の高齢化率は32.4%、65歳以上は11,162人。

記者：10月7日の自衛消防訓練の内容を教えてください。

市：久慈市役所の建物の消防訓練である。市職員、来客者が参加して行うもの。訓練後には新採用職員による消火訓練も行う。

記者：大浦光信公慰霊祭は毎年出席しているものか。

市：毎年、教育委員会で出席していた。鱒ヶ沢町とは昨年友好協定を締結している。

記者：鱒ヶ沢町と交流はあるか。

市：今月の産業まつりに来ていただく予定。秋まつり、マラソン大会にも来ていただ

いた。

記者：学童保育の待機児童が約1万8千人あると発表されたが、市内にも待機児童があるか。

市：待機児童はない。久慈小学区は、利用者が増えているので、受入体制を増やす予定としている。

記者：11月12日、三陸ジオパーク再認定審査首長ヒアリングがあるようだが、再認定の手ごたえなどあるか。

市：前回の指摘をカバーできるように取り組んできた。組織については、関係市町村で取り組み方が積極的なところとそうでないところがあった。ガイドの養成やツアーの実施をやってきた点を強調したい。